

投稿規程

1. 著者は、J A C E T北海道支部会員でなければならない。ただし、共著の場合、著者の少なくとも1人が同会員であること。
2. 投稿論文は、未発表でなければならない。ただし、口頭発表した場合、その旨を明記すれば審査対象となる。
3. 投稿分野は、実験や調査あるいは理論的考察をまとめた「研究論文」と教育実践およびその考察をまとめた「教育論文」に分かれる。
4. 原稿は、Microsoft Word または PDF ファイルで、B5 縦長の用紙サイズにて以下の規格で作成する。
 - A) 上下 30mm、左右 25mmの余白を設ける。
 - B) 横書きで、文字の大きさは 12 ポイントで作成する。(日本語、英語とも)
 - C) 日本語の場合 34 字 30 行でフォントは明朝体、英語の場合 68 字 30 行でフォントは Century を使用する。
 - D) 最初のページに、12 ポイントで 3 行あけて論文タイトル (16 ポイント、ボールド) を書く。1 行あけて氏名と所属を書き (12 ポイント、所属は括弧書き、ボールドなし)、さらに 1 行あけて Abstract (12 ポイント、ボールド) と書き、次の行から 150 語程度の 1 パラグラフで英文 Abstract (本文の使用言語に関わらない、12 ポイント、インデントなし) を置く。論文タイトル、氏名と所属、Abstract の語句はセンタリングする。その後 1 行あけて本文に入る。本文の中では、章の間は行をあけ、節の間は行をあけない。章や節のタイトルには、番号をつける (この部分は、APA スタイルと異なるので注意)。各パラグラフのインデントは全角 2 文字、半角 4 文字とする。
 - E) ページ番号は挿入しない。
 - F) Abstract、本文、註、参考文献、図、表等の資料すべてを含めて、日本語および英語ともに 20 ページ±5 ページの長さとする。
 - G) 英文原稿、英文 Abstract は、必ずネイティブチェックを受けたものを提出する。
 - H) 本文中に言及されている文献のみを引用文献として掲げる。
 - I) 注は脚注とせず、本文の最後、引用文献の前に置く。

- J) 図、表には一連の番号をつけ、本文の中に含める。同一の図、表がページをまたがないように工夫する。
- K) 論文の書式は基本的に APA スタイルとする。American Psychological Association 発行の APA Publication Manual (6th Ed.)を参考にすること。引用文献の書式例を以下に掲げるが、英語論文、日本語論文の順とする。どちらも第一著者アルファベット順で配列する。

Bandura, A. J. (1977). *Social learning theory*. Englewood Cliffs, NJ: Prentice Hall.

Beebe, L. M. (1985). Input: Choosing the right stuff. In S. M. Gass, & C. G. Madden (Eds.), *Input in second language acquisition* (pp.404-414). Cambridge, MA: Newbury House.

Ellis, R., Basturkmen, H., & Loewen, S. (2001). Preemptive focus on form in the ESL classroom. *TESOL Quarterly*, 35, 407-432.

岡 秀夫. (1979). 「教育・学習にかかわる領域—外国語教授原理および論争点」. 垣田直巳(編). 『英語教育学研究ハンドブック』 (pp.271-300) . 東京：大修館書店.

高梨芳郎. (1993). 「英語学習における学習動機、学習方略、英語力の関係」. 『福岡教育大学紀要』, 第 43 号, 45-61.

5. 原稿を以上の規格で作成し、提出用ファイルと審査用ファイル（氏名と所属を削除したもの）および右の応募ファイルを、下記のメールアドレスに送信する。ファイル提出の締め切りは、9月末日とする。ただし、8月末日までに投稿する旨を連絡することとする。

北星学園大学短期大学部 竹村 雅史 研究室

メール：takemura[at]hokusei.ac.jp

（[at] を@（半角英数）に変えてご送信ください。）

6. 原稿の採否は査読結果に基づき編集委員会で決定し、第一著者に連絡する。
7. 採択の決定した論文については、査読者からのコメントおよび編集委員会からの指示をあわせて連絡する。第一著者はそのコメントと指示に従い、Microsoft Word で作成した最終原稿をメール添付で提出することとする。

8. 編集委員会の判断により、ハードコピーの提出を求められることがある。
9. 抜刷を希望する場合、原稿提出時に希望部数（10部単位で30部以上）を明らかにして申し込むこととする。費用は、著者の負担となる。参考として、前号の抜刷価格表を掲げる。
10. 第13号より研究ノート・書評・論文解説も併せて募集する。書式と提出方法は論文に準じ、締め切りは9月末日とする。掲載の可否は編集委員会が判断する（2016年4月1日より）。

		希望部数							
		30	40	50	60	70	80	90	100
論文 頁数	15-16	4,600	4,900	5,200	5,500	5,800	6,100	6,400	6,700
	17-18	4,900	5,300	5,700	6,100	6,500	6,900	7,300	7,700
	19-20	5,200	5,700	6,200	6,700	7,200	7,700	8,200	8,700
	21-22	5,500	6,100	6,700	7,300	7,900	8,500	9,100	9,700
	23-25	5,800	6,500	7,200	7,900	8,600	9,300	10,000	10,700

11. 掲載論文は支部ホームページにて公開する。（2017年7月1日より）。
12. 著作権について
 投稿者は、投稿論文が採用・掲載された場合、以下の事項を了承したものとみなす。
- (1) 北海道支部紀要に掲載された論文等の著作権は本学会に帰属し、著者等が複製あるいは転載する場合は、本学会の承認を受けることとする。
- (2) 支部紀要掲載論文等が、著者所属の機関レポジトリ等を通じて公開が求められた場合は、発行後1年経ったものは原則これを認めることとする。尚、この場合は無料とする。
- (3) 機関レポジトリ等を通じて公開する論文は北海道支部紀要掲載稿とする。
- (4) 著者等が、自身の論文等を公開する際には、本学会に事前に承認を得なければならない。尚、「本論文の著作権は一般社団法人大学英語教育学会に帰属する」ということを必ず明記する。

